

2020年8月24日  
株式会社インプレスR&D  
<https://nextpublishing.jp/>

## 古籾一浩氏による AdobeJavaScript シリーズ待望の最新刊！ 『InDesign 自動化サンプルプログラム』発行

InDesign の DTP 作業の効率化を図る

インプレスグループで電子出版事業を手がける株式会社インプレス R&D は、『InDesign 自動化サンプルプログラム』(著者:古籾 一浩)を発行いたします。

### 『InDesign 自動化サンプルプログラム』

<https://nextpublishing.jp/isbn/9784844379072>



著者:古籾 一浩

小売希望価格:電子書籍版 8000 円(税別)／印刷書籍版 10000 円(税別)

電子書籍版フォーマット:EPUB3／Kindle Format8

印刷書籍版仕様:B5 判／モノクロ／本文 696 ページ

ISBN:978-4-8443-7907-2

発行:インプレス R&D

### <<発行主旨・内容紹介>>

本書は InDesign の DTP 作業を自動化するためのスクリプトサンプル集です。まず、目の前にある手間のかかる作業を、スクリプトを使って多少なりとも改善しようというものです。

Chapter 1 と Chapter 2 はスクリプトの入門編です。Chapter 3 と Chapter 4 はスクリプトサンプル集です。ここに掲載されているサンプルを使って、仕事を早く終わらせることができればベストです。Chapter 3 では、デザイナー、オペレーター、編集者などからリクエストされたスクリプトを 50 本掲載しています。また、Chapter 4 ですぐ仕事に使えるサンプルスクリプトを 79 本掲載しています。

本書に掲載されているスクリプトは、自由に改編して再配布したり、商用でのプログラムに組み込んでかまいません。また、ちょっとした処理をどのように実現すればよいのかに関しては、『InDesign 自動化サンプルプログラム逆引きリファレンス(上下巻)』(2019年インプレス R&D 刊)として、別の書籍を用意しています。

なお、本書は InDesign CS6～2020 に対応しています。

(本書は、次世代出版メソッド「NextPublishing」を使用し、出版されています。)

## Chapter 3 実用編 1(ユーザーからのリクエスト)

### ■画像が100%サイズかどうか調べる

画像の扁平状態を調べるには水平比率はhorizontalScaleプロパティ、垂直比率はverticalScaleプロパティを読み出します。

horizontalScaleプロパティ、verticalScaleプロパティの値が100かどうかを調べれば、画像が100%サイズかどうか調べることができます。100%サイズでない画像を選択してわかりやすくする場合は、select()メソッドを使います。

・アクティブページに100%サイズでない画像があるか調べる

スクリプトを実行すると、アクティブになっているページ内に100%でない画像があるかどうか調べて、結果をアラートダイアログに表示します。

```

●サンプル: アクティブページに100%サイズでない画像があるか調べる.jsx
// アクティブページに100%でない画像があるか調べる
checkPage(app.activeWindow.activePage);
// 指定されたページ内の画像を調べる
function checkPage(pageObj){
    for (var j=0; j<pageObj.allGraphics.length; j++){
        // 親オブジェクトのスケールに依存
        var h=pageObj.allGraphics[j].horizontalScale;
        var v=pageObj.allGraphics[j].verticalScale;
        if((h!=100)|| (v!=100)){
            alert(pageObj.name+"ページに100%でない画像があります\n"+h+",
            "+v);
            // 該当画像を選択する
            pageObj.allGraphics[j].select();
            return;
        }
    }
}
alert(pageObj.name+"ページに100%でない画像はありませんでした");
}

```

【図1】 チェックしたページをアクティブにする。このページ内には縮小された画像が1つある



【図2】 スクリプトを実行すると100%でないサイズの画像があるとアラートダイアログに表示される



## Chapter 3 実用編 1(ユーザーからのリクエスト)

```

src.parent.verticalScale = gV;
} catch(e){
    return;
}
}
resizeObj(src.parent);
}
})();

```

### ■画像をフレームにフィットさせる

画像をフレームにフィットさせるには、fit()メソッドを使います。どのようにフィットさせるかは、以下のパラメーターで指定できます。

●図1)メソッドのパラメーター

パラメーター	内容
FitOptions.APPLY_FRAME_FITTING_OPTIONS	フレーム調整オプションに従う (現在のフィットオプションをフレームとコンテンツに適用)
FitOptions.CENTER_CONTENT	画像をフレームの中央にする
FitOptions.CONTENT_AWARE_FIT	内容を自動認識に応じて合わせる (CC2019以降)
FitOptions.CONTENT_TO_FRAME	画像をフレームに合わせる
FitOptions.FILL_PROPORTIONALLY	フレームに均等に合わせる
FitOptions.FRAME_TO_CONTENT	フレームを画像に合わせる
FitOptions.PROPORTIONALLY	画像をフレーム内に収める

・選択した画像を43%に縮小した後、画像にフレームをフィットさせる

画像を含むフレームを選択してからスクリプトを実行します。水平方向の比率を変更する場合は、「var gH=43.0;」の行の43.0を、垂直方向の比率は「var gV=43.0;」の行の43.0を変更してください。どのように画像をフィット (調整) するかは、fit()メソッドのパラメーターで指定できます。

```

●サンプル: 選択した画像を43%に縮小した後、画像にフレームをフィットさせる.jsx
// 選択した画像を43%に縮小した後、画像にフレームをフィットさせる
var gH=43.0; // *水平比率
var gV=43.0; // *垂直比率
var selObj = app.activeDocument.selection;
for (var i=0; i<selObj.length; i++){

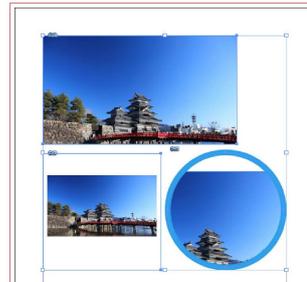
```

```

try(selObj[i].contentType)catch(e){
    alert("画像でなくフレームを選択してください");
    exit();
}
}
if(selObj[i].contentType==ContentType.graphicType){
    var imgObj=selObj[i].allPageItems[0];
    imgObj.horizontalScale = gH;
    imgObj.verticalScale = gV;
}
// 画像にフレームをフィットさせる
selObj[i].fit(FitOptions.frameToContent);
}

```

【図1】 貼りたい画像を選択する



## Chapter 4 実用編 2(仕事に役立つスクリプト)

### ■タブの位置を整数化する

設定されているタブが10.05mmのように小数位置の場合に整数化するには、TabStopオブジェクトのpositionプロパティを読み出します。positionプロパティの値を、Mathオブジェクトのfloor()メソッドを使って小数値を切り捨て(切り下げ)ます。小数値を切り上げたい場合は、Mathオブジェクトのceil()メソッドを使います。

#### ・タブの位置を整数化する

タブの位置を整数化したい段落にカーソルを移動させます(何かを選択する必要はありません)。スクリプトを実行すると、タブの位置が整数化されます。

```
●サンプル: タブの位置を整数化する.jsx
// タブの位置を整数化する
(function(){
    // カーソルがタブ設定位置にあるか
    if(app.selection[0].constructor.name!="InsertionPoint"){
        alert("タブを設定したい段落内にカーソルを移動させてください");
        return;
    }
    var tabs=app.selection[0].tabStops;
    for(var i=0; i<tabs.length; i++){
        tabs[i].position=Math.floor(tabs[i].position);
    }
})();
```

図1) タブの位置を整数化する段落にカーソルを移動



図2) タブの位置が整数になるように調整される



### ■タブ情報を書き出す/読み込む

TabStopオブジェクトの各種プロパティを読み出しテキストファイルに書き出します。1つのタブにつき1行に情報をまとめるようにします。

書き出したタブ情報を読み込んで設定するには、TabStopsコレクションのadd()メソッドを使います。

#### ・タブ情報を書き出す

タブを書き出したい段落にカーソルを移動させます(何かを選択する必要はありません)。スクリプトを実行すると、ファイル保存ダイアログが表示されるので、ファイル名を入力します。タブの情報がタブ区切りテキストで書き出されます。なお、alignmentプロパティで書き出される値と内容は以下のようになります。

#### ●alignmentプロパティで書き出される値と内容

値	プロパティ名	内容
1667301796	TabStopAlignment_CENTER_ALIGN	中央揃え
1952804515	TabStopAlignment_CHARACTER_ALIGN	指定文字揃え
1818284692	TabStopAlignment_LEFT_ALIGN	左 / 上揃え
1915579372	TabStopAlignment_RIGHT_ALIGN	右 / 下揃え

#### ●サンプル: タブ情報を書き出す.jsx

```
// タブ情報を書き出す
(function(){
    // カーソルがタブ設定位置にあるか
    if(app.selection[0].constructor.name!="InsertionPoint"){
        alert("タブ情報を書き出したい段落内にカーソルを移動させてください");
    }
})();
```

## 付録 5: ダイアログの GUI 部品

### ■整数専用のテキストフィールド

整数専用のテキストフィールドです。小数値を入力した場合、四捨五入された値になります。editContentsプロパティの内容も四捨五入した値になります。

#### ●プロパティ

プロパティ名	値	内容
editContents	文字列	入力された文字列
editValue	数値	入力された数値。小数値の場合は四捨五入される
smallNudge	数値	カーソルキーの上下を押した時の増減値
largeNudge	数値	Shiftキーとカーソルキーの上下を押した時の増減値
minimumValue	数値	入力可能な最小値
maximumValue	数値	入力可能な最大値
minWidth	数値	表示幅の最小値

#### ●整数専用のテキストフィールドを表示する.jsx

```
// 整数専用のテキストフィールド
var myDlg=app.dialogs.add({name:"Sample"});
var columns=myDlg.dialogColumns.add();
var textField=columns.integerEditboxes.add({
    editValue:215,
    minimumValue:0,
    maximumValue:255,
    smallNudge:2,
    largeNudge:16
});
myDlg.show();
alert(textField.editValue);
myDlg.destroy();
```

図6) 整数値が入力できるフィールドが表示される (左から Mac+HrDesign CS6, Mac+HrDesign 2020, Windows+HrDesign 2020)



図7-1) OKボタンが押されると入力された整数値が表示される (Mac+HrDesign CS6)



図7-2) 左から Mac+HrDesign 2020, Windows+HrDesign 2020



### ■整数専用のコンボボックス

整数専用のコンボボックスです。

#### ●プロパティ

プロパティ名	値	内容
editContents	文字列	入力された文字列
editValue	数値	入力された数値。小数値の場合は四捨五入される
smallNudge	数値	カーソルキーの上下を押した時の増減値
largeNudge	数値	Shiftキーとカーソルキーの上下を押した時の増減値
minimumValue	数値	入力可能な最小値

## <<目次>>

Chapter 1 イントロダクション

Chapter 2 スクリプト入門編

Chapter 3 実用編 1(ユーザーからのリクエスト)

Chapter 4 実用編 2(仕事に役立つスクリプト)

付録 1:コレクションを活用する

付録 2:CEP(エクステンション・拡張機能)で GUI パネルを構築する

付録 3:なぜ演算誤差が発生するのか

付録 4:エラー処理

付録 5:ダイアログの GUI 部品

## <<著者紹介>>

古籾 一浩(ふるはた かずひろ)

JavaScript 関係の本を多数執筆、この書籍で 64 冊目となる。

本の執筆以外にも 4K 映像など、様々な分野を手がけている。

## <<販売ストア>>

電子書籍:

Amazon Kindle ストア、楽天 kobo イーブックストア、Apple Books、紀伊國屋書店 Kinoppy、Google Play Store、honto 電子書籍ストア、Sony Reader Store、BookLive!、BOOK☆WALKER

印刷書籍:

Amazon.co.jp、三省堂書店オンデマンド、honto ネットストア、楽天ブックス

※ 各ストアでの販売は準備が整いしだい開始されます。

※ 全国の一般書店からもご注文いただけます。

## 【インプレス R&D】 <https://nextpublishing.jp/>

株式会社インプレス R&D(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:井芹昌信)は、デジタルファーストの次世代型電子出版プラットフォーム「NextPublishing」を運営する企業です。また自らも、NextPublishing を使った「インターネット白書」の出版など IT 関連メディア事業を展開しています。

※NextPublishing は、インプレス R&D が開発した電子出版プラットフォーム(またはメソッド)の名称です。電子書籍と印刷書籍の同時制作、プリント・オンデマンド(POD)による品切れ解消などの伝統的出版の課題を解決しています。これにより、伝統的出版では経済的に困難な多品種少部数の出版を可能にし、優秀な個人や組織が持つ多様な知の流通を目指しています。

## 【インプレスグループ】 <https://www.impressholdings.com/>

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:松本大輔、証券コード:東証 1 部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」「学術・理工学」「旅・鉄道」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

## 【お問い合わせ先】

株式会社インプレス R&D NextPublishing センター

TEL 03-6837-4820

電子メール: [np-info@impress.co.jp](mailto:np-info@impress.co.jp)